

# 近代 史学的方法 VS.ハディース方法 (1/5) : 欧米の 史学方法

:

明:

史の において用いられる近代的方法 と、ハディースにおいて用いられるものとの比 。第一部: 欧米による近代的な 史学方法 と、外部批 。

目: [事言者ムハンマド彼の言 に して](#)

より: リム アッザ ム

日 9 Aug 2011

集日 24 Apr 2016



ハディース学の起源は何世 前にもさかのぼり、ムスリムと非ムスリム双方によって多くの 象とされて来ました。一部の学者たちはハディース集は真正でなく、すべきだと主張するのに し、他方ではその正反 の意 を主 する学者たちがいます。真 はどこにあるのでしょうか? まず第一に、ハディース方法 に する批 と、欧米による近代的 史学方法 に する批 を比 するで、その手がかりが いただけるでしょう。したがってこの 考の目的とは、まず 史的 料が真性であるということ を する に用いられる一般的手法と、ハディースが真正であるということの に用いられる一般的手法を 介し、最 的にそれら双方の 程を比 することです。

# 欧米による近代的な 史学方法

なんらかの出来事が起こると、同 代の人々はそれを知り、その知 と理解を次の世代に受け ぎます (Lucey 20)<sup>1</sup>

。日常生活において、出来事の知 はその目 者によって えられ、それが正 に されること  
が出来るということを人々は しています。 、法廷においては、特定の出来事の目 者 言  
によって、事 は真 として されます (Lucey

22) 。 史学者はこう なします：「 言、つまり十分に信用に する 言は、 史的出来事に する  
疑いの余地のない典 である」 (Lucey

20) 。出来事の当事者たちによる信 に する 言によって、 史の知 は得られるのです (Luc  
ey

18) 。それゆえ、 史的方法 の目的とは、私たちに届けられている 々な 言が、正しい根  
として められるかどうかを めることです。

あるとき、ある 史家は、特定の出来事の情 を提供する直接、あるいは 接的な典 (例え  
ば本、 物、陶器の破片、写真、ラジオの 音、 承など) を集め、批 の手法によってそれ  
らを しなければなりません。これらの 史的典 、つまり「 言」は、情 と を提供し  
ます。典 の信 性 ( 言内容の事 ) を するのは、外部批 の役割であり、その正 性 ( におけ  
る腐 から免れていること) なのです。内部批 は 言の真の意味の と、 言内容の信 性に わ  
っています (Lucey

23) 。 局、典 への批 の基本的原 とは、事 の に至らしめること、または 去に されていた  
ものの 面をはぎとることなのです (Marwick 196)<sup>2</sup>。

## 外部による批

外部による批 は、特定の典 の出どころを することが要件となります。 照的に、その内  
容は内部による批 の 象となります。 史家は典 の出どころに するあらゆる情 を探し求め  
なければならず、その典 を元来の形に すという作 をする必要がある 合もあります (Luc  
ey

23) 。これは、典 の信 性を させるためです。典 の信 性を判 するということは、その 言

内容が、 にそれを行ったとされる人物に 属されるのかどうか、またはそれが主 する 代に に 属していたのかどうか、そしてそれが自ら主 するものそのものであるのかどうかを することです。典 の出どころに して可能な限りの情 を集めることは、典 の真 性を することにおいても必要なことです。つまり、それが 代にまで く の 程において改ざんが施されなかったか、そしてもしそうなのであればその改ざん内容を特定することです。

外部による批 の第一段 としては、 言内容の事 を させるために、いくつもの なる の に答えることです。典 の出どころと、それが最初にどこで されたのかが突き止められなければなりません (Marwick

222)。例えば、エジプト陶器がイエメンの で されたのであれば、それは 国 にかつて交易があったことを示唆する重要な となります。さらに、典 の年代を知り、 象に する年代とどれほど近いのかが割り出されなければなりません (Marwick

222)。他にも、その他の重要な年代とどのような 性があるのかということも明らかにすることも重要です。典 の出どころに する情 のすべては、その の内部批 によって信 性を 定することにおいても有益となります。

「作者を することは、信 性の における第一段 である」 (Lucey 47) にも わらず、 史家が作者と信 性を切り して区 することは特 に するでしょう。いつの年代に属しているかが知られている限り、 名で著された古い 代の 物のように、作者 不 の 料に信 性が付属することは可能ですが、いくつかの特定のケ スにおいては、典 の 信 性を するため、その 料の作者が必ず判明していなければなりません。

外部の批 における第二の、そして最 の段 は、典 の真 性に する です。言い えるなら、典 または 言内容が 史の 程で改ざんされなかったかどうかを することです。この に合格してはじめて、 言内容の事 性が完全に されるのです (Lucey

62)。もしも 言内容に 更が加えられたのなら、その真 性が留められるため、元来のものに する改 内容が されなければなりません。元来の形またはその に する故意のもの、あるいは故意ではない追加や削除が施された可能性もありますが、最低限でも典 または 言内容の殆どが真 であることが されなければなりません。また不注意な 作 の 果によ

る改ざんは非常に一般的であり、重大な解 的 いを生む可能性があるという事 も注意が  
必要でしょう (Lucey  
62)。これらのことが されると、 史家は 言内容の の段 へと むことが出来るのです。

---

## Footnotes:

1

Lucey, William. *History: Methods and Interpretation*. Chicago: Loyola UP, 1958.

2

Marwick, Arthur. *The Nature of History*. 3rd ed. London: Macmillan, 1989.

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/851>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。